

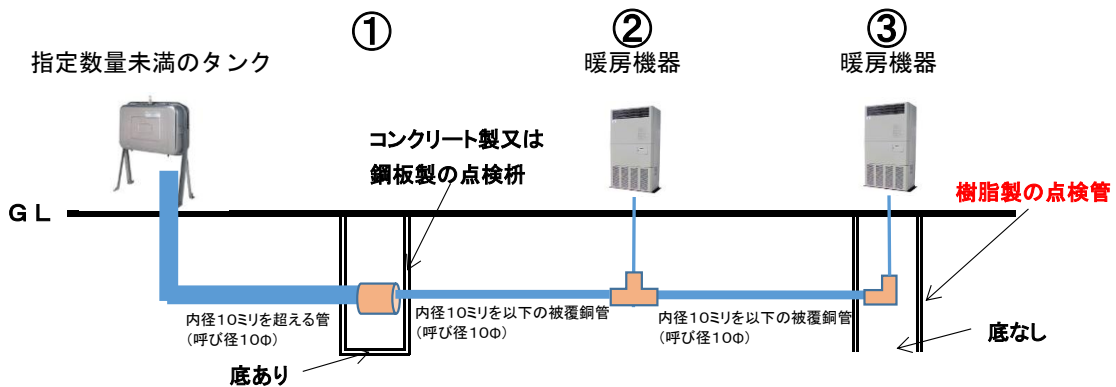
# ホームタンク等の地下埋設配管の 接合部分についてのお話です！



地下に埋設する場合で、ろう接又は既製の接続金具により接続する場合

↑ 基本的には点検柵が必要になります！

ただし、、、 施工後の気密検査(常用圧力の1.5倍)で異常がない場合は、下記のとおり緩和されます。



管径及び都合方法	点検柵の要否	点検柵の基準
① 内径10mmを超える管で突き合わせ接合及び重ね合わせ接合以外の接合方法	要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蓋のあるコンクリート製または鋼板製の箱に収める</li> <li>・ 大きさ25cm以上の円が内接することができる</li> <li>・ 深さは点検に十分できる</li> <li>・ 濡れた危険物が地下に浸透しない措置を講じる</li> </ul>
② 内径10mm以下の被覆銅管で銅製継手を併用したろう接合(※1)	不要	
③ 内径10mm以下の被覆銅管で既製の金属継手(※2)	要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 深さは点検に十分できる</li> <li>・ 蓋のある内径15cm以上の樹脂製の管に収める</li> </ul>

↑いずれも施工後の気密検査(常用圧力の1.5倍)で異常がない場合に限る。

※1 銅製継手を併用したろう接合



→ 点検柵不要



※2 既製の金属継手



→ 樹脂製の点検柵が必要

何かご不明な点がございましたら、日高西部消防組合にお問い合わせください。

日高西部消防組合